

自立 敬 愛



市川南中学校だより No.10
R2.8.19 校長 上田

市川南中学校 HP



2学期のスタートにあたって

▼18日間の夏休みが終わり、いよいよ本日より2学期が始まりました。始業式では、全校生徒に次のような話をしました。▼今日から2学期が始まります。夏休みに入ってから猛暑日が続きましたが、病気やケガもなく、こうして皆さんが元気に登校してきてくれたことをうれしく思います。▼また今年はコロナの関係で、旅行やレジャーを控え、家で過ごした人も多いことと思います。コロナが一日も早く収束し、2学期に予定している南翔祭や修学旅行、宿泊学習が予定通り実施できることを願います。▼さて、短い夏休みでしたが、先生は3冊の本を読みました。一冊目は元スターバックCEOの岩田松雄が書いた「ついていきたいと思われるリーダーになる51の考え方」です。人間性を磨くことが何よりも大切であるということが再確認できました。▼続いて、図書館にあった「フラダン」という本で、4人の男子高校生がフラガールズ甲子園に出場する物語です。そして3冊目は、直木賞作品である「少年と犬」(馳星周さん著)です。この作品は、初めて電子書籍で読みました。▼実はこの「フラダン」と「少年と犬」の2つの作品は、大きな傷跡を残した「東日本大震災」が背景となっています。2冊とも、とても感動的な本なのでぜひ読んでみてください。▼最後に、2学期は5か月間、88日の登校日と最も長く、大きな行事も目白押しの学期です。引き続き感染症対策に万全を期す中で、生徒一人一人が自らの目標に向け、日々努力し続けることで、心身ともに大きく成長してくれることを期待しています。



学年代表からの決意

▼始業式では各学年の代表者から「夏休みの反省と2学期の目標」が述べられました。3人とも原稿を見ずに、堂々と発表してくれました。主な内容は次の通りです。▼1年生の前嶋麻友さんは「短い夏休みだったが、最初は計画通り学習を進めることができた。また親と一緒に体を動かすなどの運動や、掃除・洗濯物を取り入れたりなどの家の手伝いをすることができた。2学期は1学期より自主学習を積極的に行い、部活にも集中して取り組みたい。また、生徒会最大行事の南翔祭では、先輩たちを見習ってしっかりと取り組んでいきたい。」と述べてくれました。▼2年生の中山太希さんは「2学期に頑張りたいことは2つある。1つ目は勉強。2年生になって学習方法を見直したら成績がよくなったので、これからも学習時間を増やし内容の濃いものにしていきたい。2つ目は南翔祭。自分の仕事をしっかり行い、劇もレベルアップしていきたい。またコロナと熱中症対策などの体調管理に気をつけて一番長い2学期を充実したものにしたい。」と抱負を述べてくれました。▼3年生の鹿野悠さんは「今年の夏休みは1日4時間以上勉強するという目標を立て、実行できた。2学期は南翔祭や修学旅行があるのでしっかり練習に取り組み、思い出に残るものにしたい。そして、志望校に合格できるように、日々の勉強の仕方を工夫して頑張っていきたい。」と決意を述べてくれました。▼代表者以外の生徒も、3人の発表を真剣に聞いていました。その表情からは、一人一人の生徒が、3人と同様に、新たな決意を持って2学期を迎えたことが伝わってきました。充実した2学期となるよう、一人一人の頑張りを期待しています。

